



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL

宮城県立こども病院

広報紙

<http://www.miyagi-children.or.jp/>



発行：地方独立行政法人 宮城県立こども病院 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

秋保に感謝する拓桃大同窓会

院長 林 富



児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設であり、医療法に基づく病院でもある拓桃医療療育センターと当院との統合整備計画につきましては、4年前の「いのちの輝き29号」で報告させて頂きました。平成27年4月には、拓桃医療療育センターと当院は一つの法人となり、2病院体制で運営されています。既に拓桃館および支援学校は7月に竣工し、現在、来年春の1法人1病院体制に向けて、受け入れ体制に必要な本館修復拡張工事が行われています。

60年前の昭和30年、拓桃医療療育センターは秋保村に宮城県立肢体不自由児療養施設「宮城県整肢拓桃園」として開設され、同時に小学校、中学校の「拓桃園分校」が設置されました。「秋保村が開設当時の敷地の約半分を無償提供し残りの土地取得にも配慮して下さいました」ことにより秋保温泉郷に整肢拓桃園が設置されました。

平成27年10月10日、拓桃支援学校において「秋保に感謝する拓桃大同窓会」が盛大に開催されました。多くの支援学校同窓生や先生方、センターの職員の方々、秋保の皆様が参加され、久しぶりの懐かしい再会の喜びと温かい雰囲気にもまれた大同窓会となりました。

8月28日の拓桃医療療育センターと拓桃支援学校の「開所開学60周年記念式典」の時も同じ感想を持ったのですが、「拓桃」には、child centered care と、family centered care の精神が脈々と受け継がれています。みんなの中心にいる子ども達とご家族が楽しそうにリラックスして笑顔と笑い声に溢れ、その周囲を職員の皆さん方が温かく包んでいます。

およそ5年間、来年春の統合に必要な、ありとあらゆる準備を進めて参りました。勿論、「拓桃」のこの大事な精神も引き継がれていきます。

病院理念

- 私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む心の通った医療・療育を行います。
- 私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、良質で安全な医療・療育を行います。

病院の基本方針

- ①チーム医療、成育医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
- ②こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
- ③一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
- ④小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
- ⑤こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
- ⑥自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
- ⑦臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
- ⑧職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

Contents

部門紹介	2
宮城県立拓桃支援学校 こども病院分教室について	3
ボランティア紹介	3
地域医療連携室だより	4
新病院棟紹介	5
院内サークル紹介	6
行事予定	6
編集後記	6



日本医療機能評価機構
認定第JC1934号

当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。

部門紹介



集中治療科

(小泉 沢 医長)



左より 楠本 耕平 医師、小泉 沢 医長、 松川 周 科長

当院集中治療室（ICU）は、2015年10月時点、東北地方で唯一の独立した小児集中治療室（Pediatric ICU: PICU）です。2014年4月に集中治療科が麻酔集中治療科から分離し、PICUでの診療を担うことになりました。各専門診療科、看護師、院内他部門（臨床薬剤師・臨床工学技士・栄養サポートチーム・リハビリなど）と協同・連携し、チーム医療を実践しています。

PICUで治療を受けるお子さんは、呼吸・循環・意識・その他臓器に重篤な急性機能不全を呈した方、その恐れがあり綿密な観察を要する方などです。手術前後に加え、内因性（いわゆる病気）または外因性（けがなど）の救急・急変した方も含まれます。お子さんがなるべく早く回復できるよう、病気やけがの治癒を目指すのはもちろんのことですが、生命維持（たとえば人工呼吸療法など）と全身管理を行うことが、集中治療科の重要な役割となります。PICUではお子さんにストレスのかかる治療を行うことが通常で、また周りを多くの機器が取り囲むなど決して安楽な環境ではありませんが、看護師・院内保育士などとも協力し、お子さんが少しでも穏やかに、楽に過ごせるよう努力しています。

医療ソーシャルワーカー

(主任医療ソーシャルワーカー 山口 和歌子)



左より 木村 好美 医療ソーシャルワーカー
山口 和歌子 主任医療ソーシャルワーカー

「ソーシャルワーカーって、どんな仕事をする人？」と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。病気になるとそれまでにはなかった心配事や悩みがあって、療養を続けながらご家族だけで乗り越えるには大変なことがたくさんあります。お話を伺いながら心配事やなんとなく不安な内容を整理させて頂き、解決の糸口を一緒に見つけられるようにお手伝いしたいと考えております。「医療費高いなあ……」「何か家庭にしながら受けられる福祉サービスは無いかしら……」など、ふと迷った時は、どうぞ家族支援室にお越しください。相談の窓口は、正面玄関を入って左にある1階の家族支援室です。お部屋に入ってから、奥のカウンター上にあるチャイムを鳴らしてスタッフをお呼び下さい。福祉サービスに関する掲示物、患者家族会や学校に関する情報等も自由に閲覧できます。ぜひ一度、お気軽に家族支援室にお立ち寄り下さい。

宮城県立拓桃支援学校 こども病院分教室について



(分教室主任 相澤 徹)

分教室は、入院している児童生徒のための学校です。平成15年の開院以来、院内に教室を設置して、小中学生を対象に教育活動を行ってきました。平成27年3月末までは宮城県立西多賀支援学校の分教室でしたが、宮城県拓桃医療療育センターとの病院統合に伴い、4月から宮城県立拓桃支援学校の分教室となりました。学校名は変わりましたが、病弱児に対する教育内容や教育支援の変更はありません。8月からは新校舎に分教室は移動し、新たな環境で病弱教育にあたっています。

分教室は13年目を迎え、これまでを振り返りますと、入院される児童生徒の実態に合わせ、重複学級も途中から設置されました。また、長期入院の児童生徒の転入だけでなく、短期入院で検査や治療などを受ける児童生徒に対しては転校をしないままでも、授業参加を認める「聴講」という形での学習支援も進めてきました。校外学習や学習発表会などの諸行事も、病院側との打合せを重ね、安心そして安全に活動できるように、病院側の御協力をいただきながら実施しています。

28年春からは、本校が秋保校舎から新校舎に移転するので、障害や病気のある児童生徒の教育に対して、より総合的に対応できるようになります。



前列 左から二人目 分教室主任 相澤 徹 教諭と他教諭のみなさん

ボランティア紹介

朝の読書

(こども図書館 笠松 富美子)

こども図書館の前を、分教室へ通う児童の皆さんが、元気に通って行きます。時折教室の方から楽しそうな笑い声が聞こえてきて、思わずこちらも幸せな気分になる事も度々です。親元を離れがんばる児童の皆さんと、私達ふたり交替で朝の読み聞かせを通して、楽しく触れ合うことが出来ました。おはなし会が終了した時、思いかけず児童の皆さんから、感謝の言葉と色紙を頂戴しました。



『おもしろい本や、紙しばいを聞かせてくださり、ありがとうございました』

『いちがっき本を読んでくれてありがとうございました。これからがんばってください』

『よみかきのじかんが、たのしかったです。ありがとうございました』

『これからも、がんばってください』

人に感謝し思いやる心が溢れていました。胸が熱くなり、鼻の奥がツンとなりました。こちらこそありがとうございました。

皆さんが、これからたくさんの素晴らしい本に出会えます様に…。

地域医療連携室だより

診療科のご案内

総合診療科

総合診療科は、総合診療および専門診療の2つを診療の柱としています。

総合診療として、病院の新患窓口として紹介患者の対応と振り分け、先天異常など専門科に振り分けにくい患児の主治医、各専門科間のコーディネーターとしての役割、基礎疾患のある患児の手術前後の全身評価・管理、乳児健診・予防接種、胃瘻・中心静脈栄養・酸素吸入・気管切開・人工呼吸管理など在宅医療を要する患児の外来フォローおよび入院治療、呼吸不全など重症児の治療などを担っています。新患外来（木曜を除く毎日午前）ではスタッフが分担して多様な新患に対応しています。感染症や川崎病などの救急疾患は随時お引き受けしますので、お気軽にお電話でご連絡下さい。

2015年4月より、総合診療科内の4つの専門領域を診療科として標榜できるようになりました。消化器科（虻川・角田・星）、アレルギー科（三浦・北沢・堀野・齋藤）、腎臓内科（稲垣・内田）、リウマチ科（梅林）の4診療科が、他の医療機関では対応の難しい重症例を中心に引き受けし、高度で専門的な治療・検査を行っています。重症例や専門領域に限らず、何でもお気軽にご相談下さい。（虻川大樹）

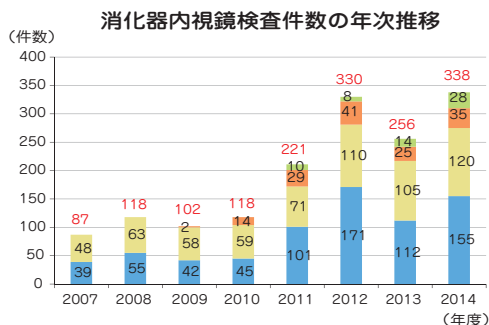


前列左より 梅林宏明 リウマチ科科長、三浦克志 アレルギー科科長、
虻川大樹 消化器科科長、稲垣徹史 腎臓内科科長

消化器科

対象疾患

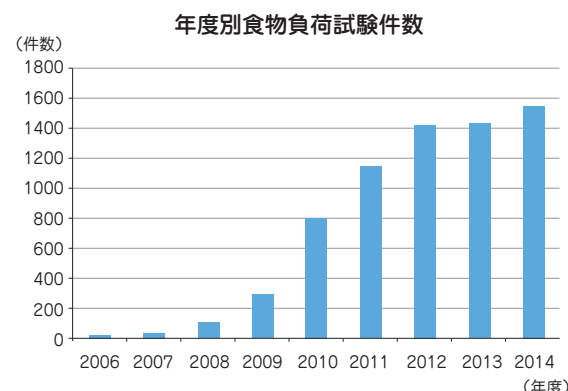
- 腹痛
- 嘔吐
- 便秘・下痢
- 血便
- 胃十二指腸潰瘍
- 潰瘍性大腸炎
- クロウン病
- 黄疸・胆汁うっ滞
- 肝炎・肝障害
- 肥満



アレルギー科

対象疾患

- 気管支喘息
- 食物アレルギー
- アレルギー性鼻炎
- アレルギー性結膜炎
- アナフィラキシー
（食物依存性運動誘発アナフィラキシーを含む）
- 蕁麻疹
- 新生児・乳児消化管アレルギー
- 化学物質過敏症
- アトピー性皮膚炎



腎臓内科

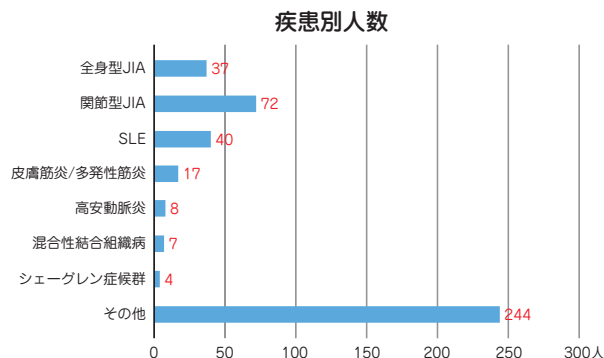
対象疾患

- 検尿異常
- ネフローゼ症候群
- 尿路感染症
- 腎炎
- 急性・慢性腎不全
- 尿路奇形

リウマチ科

対象疾患

- 若年性特発性関節炎
- 若年性皮膚筋炎
- 混合性結合組織病
- 自己炎症性疾患
（PFAPA、クリオピリン関連周期熱症候群など）
- 全身性エリテマトーデス
- シェーグレン症候群
- 高安動脈炎



宮城県立こども病院 地域医療連携室

〒989-3126 仙台市青葉区落合四丁目3-17
TEL:022-391-5115(直通) FAX:022-391-5120(直通)
開室時間/月～金曜日の8:30～17:15(祝日、年末年始は除く)

新病院棟紹介

今回は、平成27年7月に完成した、
拓桃支援学校の新校舎の様子を取材
させていただきました。



正面玄関



正面玄関にある
「克服 そして
自立」の石盤



音楽室



体育館前のプレイルーム



体育館



完成した拓桃支援学校の
新校舎

宮城県立こども病院 院内サークル紹介



フットサル部

(臨床工学部 臨床工学技士 岩佐 昌弘)

●こども病院フットサル部 (チーム名: Bambini F.C.) の誕生

Bambini F.C.は、2010年7月15日から当院の職員を中心に活動を始めたフットサルチームです。医師や看護師、コメディカルや医療関係者などを集めて、東日本大震災後2ヶ月間をのぞき、毎月1～4回仙台市内のフットサル場で活動してきました。

●チームコンセプト

Bambini F.C.の最大の特徴は、常に楽しむことです。好きな事をやる時に一番大切なこと…それは最も単純なことです。どんな状況でも楽しいと思える気持ちです。一瞬のプレーを一人一人が心の底から楽しみ、



それを見ている人への楽しさに繋げるような一体感のあるクラブを目指しています。

●チーム名の由来

チーム名のBambini F.C.とはイタリア語で「こども達」を意味し、チームの母体が小児病院関係者であり、全てのこども達の病気が治癒してほしいという思いが込められています。こども達といえば、サッカーの選手入場の際、選手と共に入場することも達を存じでしょうか？エスコートキッズと呼ばれるこども達で、こども達に夢を与えると同時にフェアプレー精神を大切に、サッカーする者は皆仲間であることをアピールする意味があります。



行事予定

- 11月 5日 第127回まほうの広場コンサート
- 11月11日 第47回クリニックラウン訪問
- 11月20日 星空工房アルリシャ&星の語り部
- 11月24日 第128回まほうの広場コンサート
- 11月24日 スマイリング・ホスピタル・ジャパン宮城
- 12月 1日 第129回まほうの広場コンサート
- 12月 7日 光のページェント点灯式
- 12月15日 難病のこども支援全国ネットワーク (サンタクロース訪問)
- 12月18日 クリスマス会
- 12月21日 サンタクロース訪問
- 12月28日 第130回 まほうの広場コンサート
- 1月 8日 餅つき会
- 1月13日 第48回クリニックラウン訪問

編集後記

毎日電車通勤をしていますが、国見駅を過ぎてトンネルを抜けると山々が色づいている光景を目にします。青い空に映える色とりどりの景色はとても美しいものです。

平成27年7月17日、こども病院と渡り廊下で結ばれた新館「拓桃館」が竣工しました。これに先がけて、7月27日から発達支援部がリハビリテーションを開始、7月30日にはICU病棟が仮設病棟へ移転、8月31日からは歯科外来を開始しました。同じ頃、分教室も新校舎での授業が始まり、登下校時に渡り廊下を通るこどもたちの声がドア越しに聞こえるようになりました。廊下ですれ違う際には、ランドセルを背負ったこどもを見かけることもあります。新館「拓桃館」は明るい日差しが差し込み、ゆったりとした広さがあり快適です。一方、こども病院の本館は所々で改修工事を行っているため、しばらくの間、患者さんやご家族の方にはご不便をおかけすることになります。

秋保の拓桃医療療育センターは、平成28年3月1日の移転を目指し両院の準備が進められています。

(診療情報室 診療情報管理士 三上静香)

地方独立行政法人 宮城県立こども病院

〒989-3126

宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17

TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

<http://www.miyagi-children.or.jp/>

広報委員会

委員長 田中 高志

広報委員 虻川 大樹 今泉 益栄 安達 恭子 伊深 智啓
櫻井奈津子 佐々木正臣 佐藤 寿樹 佐藤 芳則
富岡 聖弥 真嶋 智彦 松谷ひとみ 三上 静香
横内 由樹 吉田さやか



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。